

平成28年11月28日付け津市監査委員告示第9号公表分

出資団体監査

株式会社伊勢湾ヘリポート（所管部局：都市計画部交通政策課）

監査の結果	<p>株式会社伊勢湾ヘリポートは、平成5年から三重県唯一の公共用ヘリポートとしてその施設の管理・運営、航空用燃料の販売業務等を行っているが、第22期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の決算において、565万1,511円の営業損失を計上し、純損失も370万2,097円となっている。</p> <p>また、減価償却費520万6,940円を引く前の営業損益においても、44万4,571円の損失となっている。</p> <p>このことから、今後も更なる業務の合理化や経費の削減等に取り組み、経営改善に努めるとともに、様々な手法を駆使し、積極的な収入財源の確保に努められたい。</p>
措置の内容	<p>経営改善に向けて、収入源である燃料給油、離陸及び停留を促進する案内チラシをヘリコプター会社等に送付するとともに、ウェブサイトにて利用を促進するなど積極的な収入財源の確保に努めた結果、令和元年度は収支が約27万円の黒字となった。</p> <p>また、平成31年3月に企業進出協定を締結した民間のヘリコプター会社の格納庫が令和2年3月に完成し、今後は防災面、観光面、交通面などで同社による当該施設の活発な利用が期待されることから、令和2年度は航空機燃料販売等の収入増加により、増益の見込みである。</p>